

ひびき

教育目標「なかよく かしく たくましく」
〈めざす姿〉認め合い 自分で考え チャレンジする子
多治見市立共栄小学校 R8.2.28

デジタルとアナログのよりよいハイブリッドをめざして

－「使いこなす」と「基礎を身に付ける」のバランスを大切に－

共栄小校長 加藤 隆史

来年度より、一人一台のタブレット端末が新しいものになります。本校にも、右の写真のような新しいタブレット端末が全児童、職員分が届きました。今使っているタブレット端末は長きにわたって使ってきたため、容量がいっぱいになったり、バッテリーが劣化してきたりと不具合もでてきています。新年度からは、こうした悩みもなくなり快適に使えるようになることでしょう。さらに、このタブレット端末は、多治見市が約 6 億円もの費用を使って購入したものを貸与されるというかたちをとります。新たなものを配付する際には、その意味の重さを子どもたちにも伝え、大切かつ適切な使い方をしていくよう指導していきたいと思います。ぜひ、ご家庭でもご指導や見届けをお願いします。



形や使い方はこれまでとほとんど変わりません。タッチペンの形や充電機 (type c) などの変更点です。



子どもたちはタブレット端末を効果的に使って、課題解決に必要な資料を自ら収集、分析して考えをまとめていきます。

本校では、タブレット端末を活用した自己調整学習という学びを進めています。タブレット端末は自らの学び方を選択したり、自らの学びを振り返ったりするのに欠かせないアイテムとなっています。また、インターネットを使った調べ学習や写真・動画の活用、さらには他者の意見をその場で知ることができ、仲間との考えを共有し、互いに高め合うことができます。今の本校において、タブレット端末は子どもたちの学びを広げ、深める大きな力となっています。

一方では、漢字ドリルや計算ドリルなど紙媒体



来年度は漢字ドリルだけでなく計算ドリルも改めて使い、基礎学力の定着を目指していきます。

を使い、「きちんと書く」「繰り返し練習する」学習も引き続き大切にしていきます。実際に鉛筆を持ち、丁寧に文字を書くことは、正確な文字の定着だけでなく、集中力や思考力を高めることにもつながると考えます。また、漢字や計算については、繰り返し書いて練習することで、基礎的な力がしっかりと身に付いていくと考えています。

これからの学びは、「デジタルかアナログか」という二者択一ではありません。それぞれのよさを生かしながら、バランスよく取り入れていくことが重要です。本校では、子どもたちの確かな力を育てるために、デジタルとアナログのよりよいハイブリッドをめざしていきます。